

提出日 2020 年 12 月 10 日

国際センター所長 殿

2020 年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書（最終）

この報告書は、大学が、皆さんの留学について把握するために提出していただくものです。また、留学希望者や留学予定者の参考とするため、センター内で閲覧に供します。

提出の際は、すべての項目に記入の上、公開の可否をお知らせください。公開を希望しない項目については、「非公開希望」の欄に「✓」を記入してください。ただし、留学先大学名は公開、学籍番号と帰国後の連絡先（E-mail アドレスを除く）は非公開を原則とします。

上記目的での利用について、報告書の提出をもって、同意したものと見做します。

非公開希望	項目	内容	
	所 属	経済学部	経済学科／専攻 4 年（留学年次） 4 年（帰国年次）
	(ふりがな) 氏 名		学籍 番号 (原則非公開)
	帰国後の 連絡先	〒 Tel/Fax : 携帯 : (原則非公開) E-mail : ※留学希望者からの直接の問い合わせ 可	
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 マードック大学	
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2020 年 2 月 17 日 ～ 2020 年 11 月 21 日 出国日 2020 年 2 月 6 日 最終帰国日 2020 年 3 月 31 日 (コロナによる渡航中止)	

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

この留学を通じて、異なる国々の学生さんと共に学ぶことの楽しさを知りました。今まで暮らしてきた背景や異なる価値観を持つ学生さんと議論することがとても楽しく、学ぶことが多かったです。留学の自己評価は、前期と後期で大きく分かれます。前期は、現地にいたころは勉強も交換留学生向けへのイベントの参加も楽しく、現地での生活に慣れながら、頑張っていたと思います。しかし、新型コロナウイルスの影響で帰国しなければならなくなり、状況は一転しました。環境のせいにはしたくありませんが、帰国後、ずっと夢だった留学が突然終わりを迎え、かなりの精神的ダメージを受け、マードックの勉強のみならず全てのやる気を失いました。どのようなことが起きても、ぶれることなく頑張る力が当時の自分には足りなかったなと思います。後期は、気を取り直してオンライン授業を受け、自分の専攻である経済学についての教養を深めることができたと同時に、経済学と関連する分野である経営学についても深く学ぶことができました。どの授業でも積極的に発言することができ、グループワークでも主体的に活動できました。グループで分析を行い、レポートを書く課題では、過去最高点をいただくことができ、課題への貢献度を示す評価でもほぼ満点をいただくことができました。私はクラスの中で一番英語ができない人だったと思います。文章を書くことや英文を修正することは他の学生さんの方ができるので、その分私はリサーチを頑張ったり、英語がネイティブレベルではなくてもできる部分で全力を尽くすと決め、どんなことでも「～だから、私は何も力にはなれない」のではなく、「～だけど、これなら私もできる」というように、自分のできる部分を見つけてそこで自分の最大限の力を尽くすことが大切だとわかりました。同じクラスに他に日本人はおらず、オンライン授業は友達も作りにくいので、最初は本当に孤独でつらいこともありましたが、それも乗り越えることができました。グループワークでは、会ったこともない世界の様々なところから授業を受けている学生さんと一緒にグループで活動し、最初は不安でしたが、どのワークもとても楽しく、自信をもつことができました。この留学生活を経て、改めて学ぶことの楽しさを知ることができました。このような貴重な経験を帰国後もできたのは、国際センターがオンラインでの交換留学を続けることを認めてくださったからです。心から感謝申し上げます。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

オーストラリア英語に慣れるのに時間がかかったので、アプリでオーストラリアのラジオを聞いて耳を慣らしておくともよいかもかもしれません。また、膨大なページ数の論文や教科書を予習として読むこととなります。少しでも英語を読むことに慣れておくために、普段から英語のニュース記事を読んだり、グーグルスカラーなどで自分関心のある分野の英語の論文を読んでみて、慣れておくといいと思います。さらに、レポートを書く際にはパラフレーズすることが大切になるので、「この文章を言い換えると何になるか」考えるといいと思います。edX など海外の講義を無料で受けることができるサイトもありますので、関心のある分

野の授業を受けてみて、英語で授業を受けることに慣れるといいと思います。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

予習重視で、授業で予習した内容について議論を行ったり分析をするので理解を深めることができます。毎回のワークショップはとても楽しく、受け身ではなく、自発的に意見を言うことが求められます。教授もとても親しみやすく、わからないことがあればすぐに聞くことができます。毎回の課題のフィードバックも細かく書いてくださるので、改善点が明確になり、今後の成長につなげることができます。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

キャンパスは広く最初は迷子になったりしたので、学期が始まる前に授業の教室がどこにあるのか確認しておくと思います。図書館も広くて24時間空いているので夜も土日も集中して勉強することができます。キャンパス内にはフードコートのような学食があります、また、スーパーもあるので、便利です。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

日本人向けに週に1度1時間ほど英語での論文の書き方を教えていただけます。費用はかかりません。一から教えていただいたので、とても助かりました。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

生活面に関しては、現地の日本人の先生がサポートしていただけます。困ったことは何でも聞けるので、安心です。留学生向けイベントも盛んで毎週色んなイベントがありました。動物園に行ったり、パースを観光したりしました。このようなイベントに参加することで、たくさんの留学生と友達になれるので、怖がらずに積極的に参加してみてくださいね。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

奨学金を受けていないので、わかりません。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

治安は比較的好いと思いますが、寮でのトラブルはあるようです。自転車の盗難、車へのいたづら、嫌がらせなどはあるようでした。しかし、頻度は高くないので、怖がらなくても大丈夫です。新型コロナウイルスの拡大が始まった時期だったこともあり、バスや電車でのアジア人差別を受けた日本人の友達がいたり、パースシティでアボリジニのホームレスに嫌がらせをされたという話も聞きました。そこまで怖がらなくてもいいと思いますが、日本ほど治安がいいわけではないので、「ここは日本じゃない」ということを忘れないよ

うにした方がいいです。キャンパス内は夜間のパトロールやエスコートサービスもあります。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Business in Society (3)	
Management in a Global Environment (3)	
Global Marketing (3)	
Communication Skills for Undergraduate Study (3)	
Introduction to Tourism Systems (3)	
Indonesian 1 (3)	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 800 ドル 、(日本円) 約 6万 円

(3) 食事

自炊

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩、計 5 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

同室のメンバーがとてもよく、毎日楽しかったです。よかった点は、North village だったので、新しくきれいだったことです。悪かったことは、プールの近くの部屋だったので、学生さんが毎晩 3 時まで遊んでいる声が聞こえて寝れないことがあったことと壁が薄いことです。South は壁が厚いようです。また、無料で使える洗濯機が少なく待たないといけなことがあります。また、たまに同じ寮の子に自分が買って来た食べ物が食べられました。それ以来、買ったもの全部に名前を書くようにしていました。メンバーがいいと、休日に外出したりできます。

4. 費用について

(1) 学 費

免除

(2) 渡航方法と金額

飛行機、(日本円) 約 20 万 円 成田からの直行便を使用しました。

(3) 生活費

(現地通貨) 月額 約 1600 ドル 、(日本円) 約 12 万 円

※ 宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

ANZ オーストラリア・ニュージーランド銀行)のキャッシュカード、クレジットカード、現金
⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

基本的にクレジットカードを使っていました。現金はほとんど使っていませんが、少額の買い物でクレジットカードが使えないときのみ利用していました。現地での銀行口座を開設することをお勧めします。オーストラリアで割り勘するとき、日本のように現金でのやりとりではなく、インターネットバンキングを利用し、送金します。友達と出かけるときに、便利です。キャンパス内にも銀行がありますし、近くのショッピングセンターでもできます。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

14 万 帰国代として使用

5. 保険について

(1) 保険会社名

ジェイアイ傷害火災保険

(2) 保険料

180,390 円

(3) 加入した保険の種類、内容

弁護士費用、賠償責任、応急治療・救援費用、歯科治療費用

(4) 感想、良かった点・悪かった点

私は現地で入院したり外来に行ったので本当に保険に入っていて助かりました。すぐに返金してくださいましたし、手続きも簡単でした。現地で入院すると一泊 30 万円くらい取られます。外来もとても高いので、普段健康でも何かあったときのために、入っておくことをおすすめします。また、医療機関の利用金額、処方箋をもらって薬を買った金額、病院までの交通費がわかるものをきちんと保管しておかないと、保険会社に申請する際に困るので気を付けてください。病院に行ったら、診断書をもらおうと、申請するときに便利です。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物と航空便

(2) 持って行って良かったと思う物

変圧器、日本食、常備薬、浴衣

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

なし

(4) 持って行けば良かったと思う物

英語での論文の書き方が書いてある本

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

朝食を作り、予習を行い、授業に行き、授業後は勉強していました。その後、寮のイベントに行ったり、寮のプールで遊んだり、友達と夕飯を作っていました。

(2) 週末

友達と出かけたり、寮の中でボードゲームや卓球をしました。スーパーに買い物に行ったり課題もしました。

8. 後輩へのアドバイス等

マードックでの生活はとても楽しいです。私は、コロナのせいで2ヵ月しか滞在できませんでしたが、その2ヵ月は私の21年間の人生で一番楽しい2ヵ月でした。現地で色んなことにチャレンジしてほしいです。もし今まで一人暮らしをしたことがないのであれば、基本的な料理の仕方など身につけておくといいと思います。私は、ほぼ一度も料理をしたことがない状態で、現地に行きましたが、ルームメイトが教えてくれたり、みんなに「料理ができない」って言っていたので、友達が作りすぎたときなどに声をかけてくれて、助かりました。今では一通り料理も洗濯もできるようになったので、あまり心配しなくても大丈夫です。留学に関して何か聞きたいことや心配なことがありましたら、遠慮なくメールしてください。力になればうれしいですし、オーストラリアの大学院に進学予定なので、現地でもサポートできることがあれば幸いです。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

このような充実した留学生活を送らせていただけましたこと、またこのような機会を提供していただきましたこと、国際センターに重ねてお礼申し上げます。